

挿し木で増やす身近なみどり

1 はじめに

最近、生活の中での『みどり』に対する関心が高まっています。そこで、自分が気にしている身近にある樹木を挿し木で増やしてみるための方法を紹介します。

2 挿し木の時期

挿し木の時期は、休眠していた芽が開いてくる前の3月下旬～4月下旬までに行う春挿しと、当年度に伸びた葉や枝が固くなってきた梅雨の頃に行う梅雨挿しが一般的です。

3 挿し木の準備

(1) 挿し木に使う用土

挿し木に使う用土の条件としては、挿し穂が発根するまで活力を失わせないために水分を十分に供給できること（保水性）と、根を分化させるために酸素を十分に供給できること（通気・排水性）が必要です。また、挿し穂の腐敗などを防ぐため、有機質や肥料分を含まない清潔な土が適しています。

現在挿し木によく使われている用土を表-1にあげましたので参考にしてください。

(2) 挿し床をつくる

大きな植木鉢、プランター、または魚屋でよく見かける深さ10cmくらいの発泡スチロール

の箱などを用意してください。発泡スチロールの箱は、底に排水用の穴を開けてやります。そこまで用意できたら用土を図-1のように入れて水をまいて土を落ち着かせます。

(3) 発根をよくするには

挿し木の発根をよくするには、薬剤を使う方法が一般的です。やり方は、オキシベロンなどの植物ホルモンの粉剤または液剤を用意します。粉剤の場合は、挿しつけ前に挿し穂の切り口にまぶしつけます。液剤の場合は、薬剤を説明書に従って処理濃度まで水で薄めて、挿し穂の切り口を6～24時間浸漬します。これらの薬剤は、園芸店で売っています。

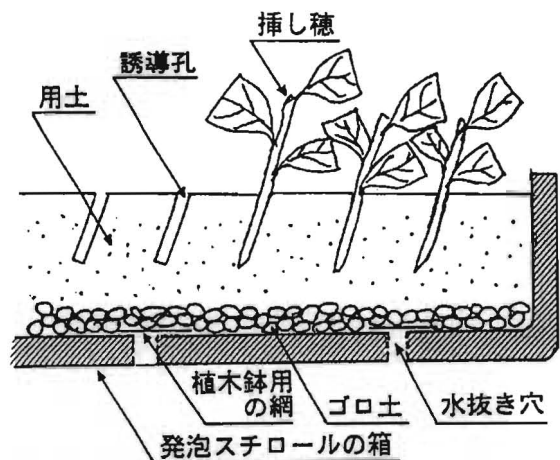


図-1 挿し床の一例

表-1 挿し床に使用する用土の種類

用土名	特徴	使用法
鹿沼土	保水性、通気性ともによい粒状の火山噴出物。有機物を含まず腐敗が起こりにくい。	細粉をとり除いて使う。単用可能
赤玉土	保水性はよいが、細かい粒子のものは排水不良、通気不良になり易い。	細粉をとり除いて使う。単用可能
山砂	通気性、排水性はよいが、保水力が乏しい。繰り返し使える。	他の保水性のあるものと混用する
パーミキュライト	人工の土で、清潔で保水性、通気性もよい。粒がつぶれると特性を失う。	細粉をとり除いて使う。単用可能
バーライト	人工の土で、非常に軽く、保水性、排水性もよい。	他の土壌と混用して浮かないようにする。
ピートモス	水性植物などの泥炭で酸性は強いが、保水性がよく、排水性もある。	酸性が強いので他の土と混用する。
ミズゴケ	保水性、通気性ともによいが、つめかたで排水性が異なる。ラン等の挿し芽に使う。	単用および混用。
ウレタン	挿し木用に加工されており簡単に使える。移植が遅れると根がからみあう。	単用しそのまま使う。

4 挿し木の方法

(1) 挿し穂を作る

春挿しの場合は花芽のない芽が動き出す前の枝を20～25cmくらいに、ハサミで切り取って切り口を水につけて置きます(図-2の荒穂)。また梅雨挿しの場合は、春に伸びた充実した枝に前年枝を少しつけて使います。次に枝に葉がついている場合は、蒸散抑制のために半分から1/3を切り取ります(図-2の挿し穂)。挿し穂の切り口は、よく切れるナイフで切り返して、形成層と呼ばれる部分を多く出してやり、すぐに水につけます(図-2の拡大図)。そこまで終われば、挿し穂を輪ゴムかヒモで結束して発根促進処理をするか、または水の中に一晩くらい入れて置き、十分に水揚げをします。

(2) 挿しつけ

挿し床に挿す時は、挿し穂の切り口をできるだけ傷つけないように、挿し穂と同じくらいの太さの案内棒であらかじめ穴を開けてやり、挿

し穂の1/3くらいまで挿します。挿し終わったら挿し穂の周りの土を抑え、水を十分にやります。そのあとは、ヨシズや寒冷紗などで風よけ・日よけをするか木陰に置きます。散水は、表面の土が乾いたらやるようにして、やり過ぎないように注意してください。

9月に入ったら、陽光の当たる場所に移して根を発達させます。

5 発根後の管理

挿し床に雑草が出てきたときは、土を動かして挿し穂に悪い影響がでるといけないので、雑草は引き抜かずハサミで切り取ってやります。

冬ごしは、霜柱による根の浮き上がりがあるので、落葉などで被覆して春まで置き、畑などに植え替えます。

6 おわりに

このような方法で気軽に挿し木をやってみてください。下の表-2にいくつかの樹種をあげてみましたので参考にしてください。(育林部 岡田)

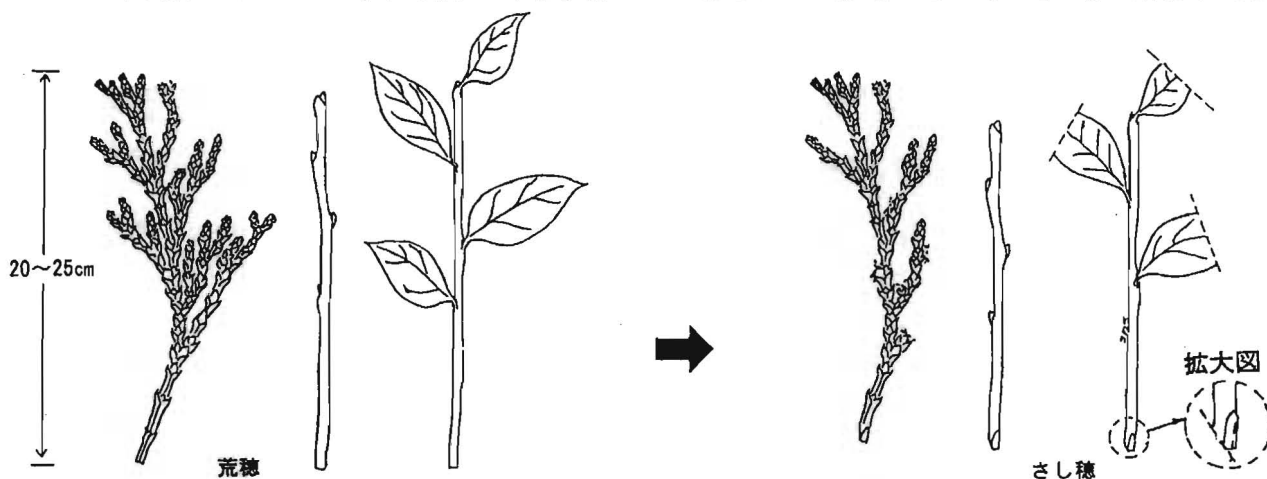


図-2 挿し穂の調整

表-2 樹種別の挿し木の難易度

難易	種	類
極易	ヤナギ類 (ケショウヤナギを除く)	メギアジサイ、レンギョウ、トサシモツケ、ヤマブキ、ウツギ類、ポプラ類、ムクゲ、マサキ、アオキ、キョウチクトウ、イチジク、クサツゲ、クサボケ、アベリア
易	カリン、ツツジ類 (落葉ツツジを除く)	ツルウメモドキ、ハナミズキ、イチイ類、ミズキ類、ユキヤナギ、ドウダンツツジ
中	イチョウ、メタセコイヤ、ソヨゴ、バラ類、ハギ類、マンサク、モクレン、ヒイラギ、キンモクセイ、カナメモチ、レンゲツツジ、マユミ、ナツグミ、ウメ、コブシ、アケビ	
やや難	コウヤマキ、ジャクナゲ類、ナツツバキ	